

令和4年3月吉日

第1回『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』 グッドパートナーシップ事業を受賞しました

日本自動車会議所が日刊自動車新聞との共催で創設された2021年度『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』は、日本全国から75件の応募が寄せられた中、選考委員会による厳正なる審議を経て、受賞事業19事業が決定され、(一社)東京ハイヤー・タクシー協会が取り組むタクシーの特性を活かした「防災レポーター制度」、「タクシーこども110番」、「ながら見守り連携事業」などの地域支援の諸活動が評価され「グッドパートナーシップ事業」を受賞しました。

各活動内容について

防災レポーター 制度

大地震・風水害・大事故が発生した時、タクシーは現場の第一目撃者になることがあるため、お客様の安全をはかりながら、目撃した被害現場の状況・周辺の様子・道路状況を搭載している携帯電話（災害時優先電話）により、東京都災害対策本部およびマスメディア（ラジオ等）や関係行政機関を通じて迅速に被害現場の生の状況を提供することや災害の初期消火や援助に協力するための救助機材を提供いたします。

<https://www.taxi-tokyo.or.jp/mecenat/prevents.html>

タクシー 子供110

警視庁及び東京都の協力を得て、事件に巻き込まれそうになった「こども」が助けを求めてきた場合、「こども」をタクシー車内に保護するとともに、「こども」から事情を聞き、その内容及び所在地等について警察に通報を行い、警察からの指示に従い「こども」の安全の確保に努めるなどの対処を迅速に行います。24時間走りつづけるタクシーの特性を活かし、犯罪に巻き込まれやすい「こども達」の安全を確保することに努めています。

<https://www.taxi-tokyo.or.jp/mecenat/kids110.html>

ながら見守り 連携事業

ほぼ全車両にドライブレコーダーが搭載されており、犯罪の抑止や、犯罪発生時の警察への捜査協力を積極的に取り組んでいます。
東京都が実施している「ながら見守り連携事業」に東京の法人タクシーが連携し、「いつでもどこへでも移動できる」タクシーの機動力を生かし、都内各地域の子どもや女性及び高齢者が安全・安心して暮らせるための「地域の見守り活動」に取り組んでいます。

<https://www.taxi-tokyo.or.jp/mecenat/nagara.html>

『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』事業とは

同賞は、自動車産業で働く550万人の人々や自動車ユーザーによる地道な活動とさまざまな貢献に対して「ありがとう」と感謝を伝え、それぞれの貢献の取り組みが世の中に広がっていく一助となるよう、2021年9月に一般社団法人日本自動車会議所の主催、日刊自動車新聞社の共催により創設されたものです。

(一社)日本自動車会議所 <https://www.aba-j.or.jp/partner/> (『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』第1回表彰式開催!!)

本件に関するお問合せ

(一社)東京ハイヤー・タクシー協会
TEL:03-3264-8080 Email:koho@taxi-tokyo.com

表彰状

一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会 殿

貴方の取り組みは第一回クルマ・
社会・パートナーシップ大賞に
おいて 厳正なる審査の結果
今後世の中に広がってほしい取り
組みとしてグッドパートナーシップ
事業に選定されました
よってここに 自動車にかかわる
全ての方々への感謝とともに
その栄誉をたたえ表彰します

二〇二二年二月七日

一般社団法人 日本自動車会議所

会長 内山田 竹志

